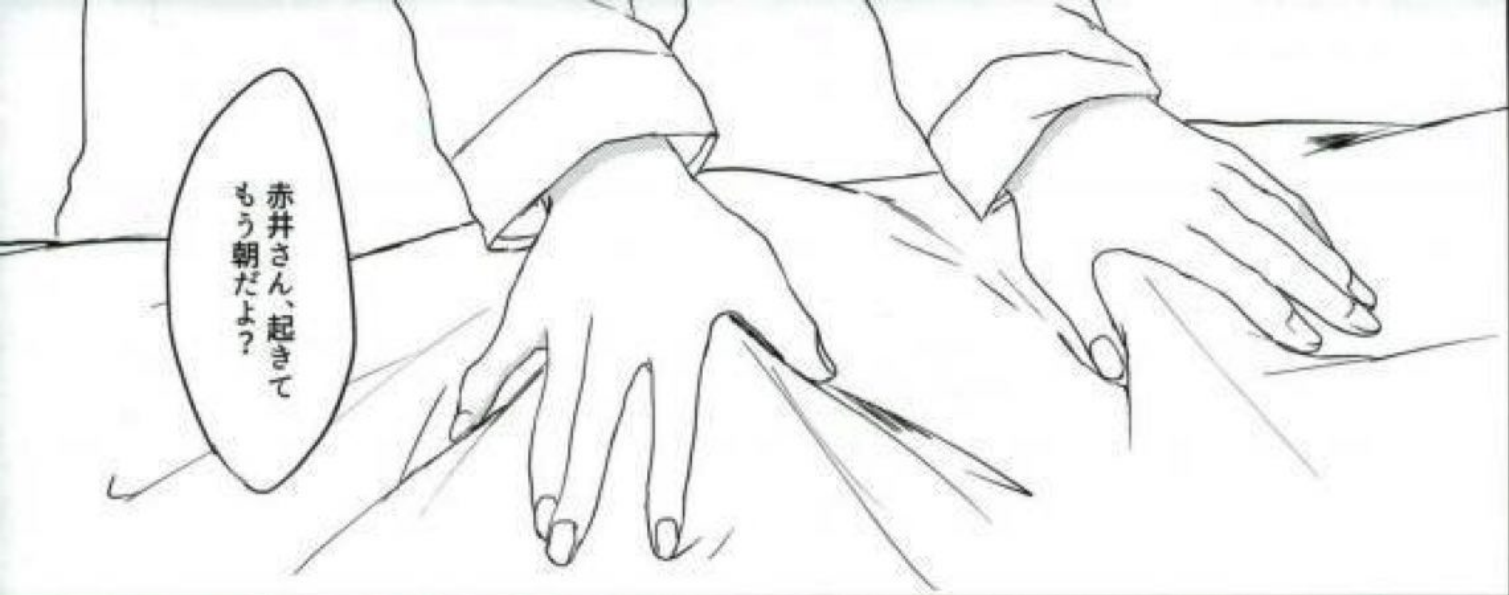


あなたにしか
みえないものが





赤井さん、起きて
もう朝だよ？



…おはよう

層間のしわ
すごいよ



外すっっ
いい天気だよ

ほら



あなたにしかみえない ~~きみ~~



せつかく休みだから
ここで本でも読んで
過ごすのも悪く
ないかなって
思うんだよなあ

……って赤井さん
どうしたの、
まだ寝ぼけてる？



……まだ夢の
中なのか？



……いや、
なんでもない

え？



……あ、
いやボウヤ、
その背中……



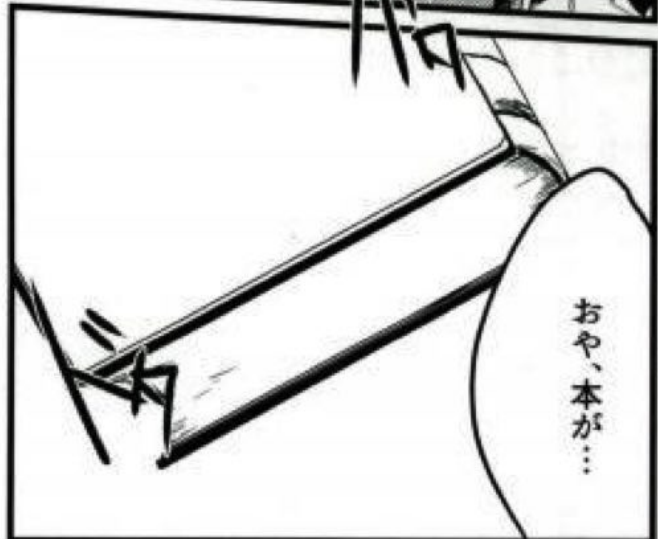
その日を境に
時折、ボウヤの背中に
なぜか羽根が見える
ようになってしまった。



何がそう不思議なもの
を見させているかは分からない。

そして、
その羽根はどうやら
俺にしか見えていない
ようだということも
一緒に分かってしまった。

…全く、何がそう
見させているのか





ありがとう、昴さん



.....



本当に何なんだ、
一体どうしたんだ俺は...

は

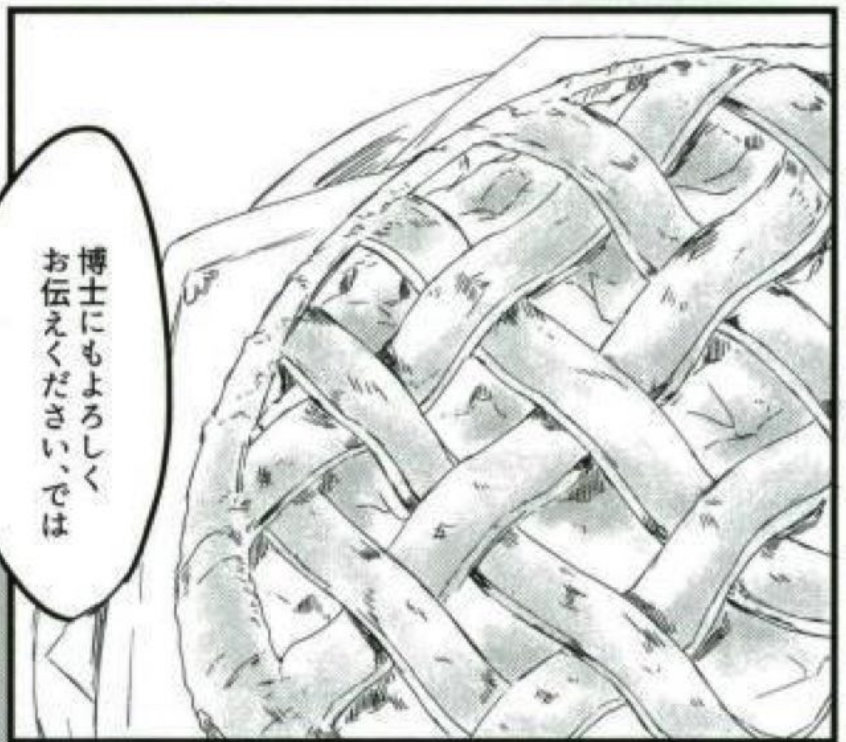
oo





ああ、あと

お菓子を
作ってみたくて
良かったら...

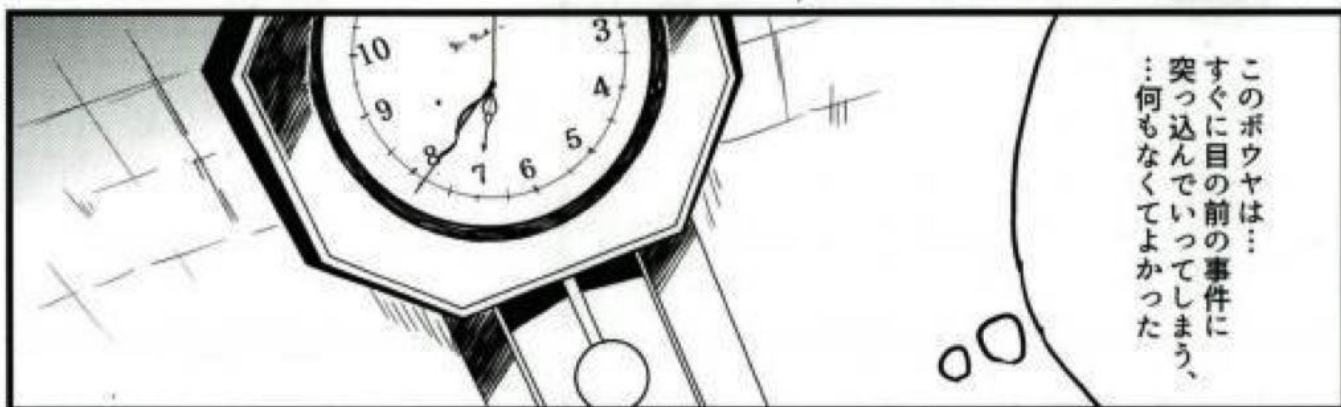


博士にもよろしく
お伝えください、では



...あのひと

誰にあげるために
作ったのかしらね





味はどうだ？
まじはいいか



赤井さん



怪我ではなかったよう
だが、痛いところは
別にないか？

うん、大丈夫だよ
赤井さん意外と
心配性だね



…心配くらいさせて
ほしいものだがな





なんかさ、
赤井さん最近

変なものでも
見えてる？



な〜んか妙に視線が
宙を切ったりしてて
変だなんて思っただけ

…どうしてそう
思ったんだ？





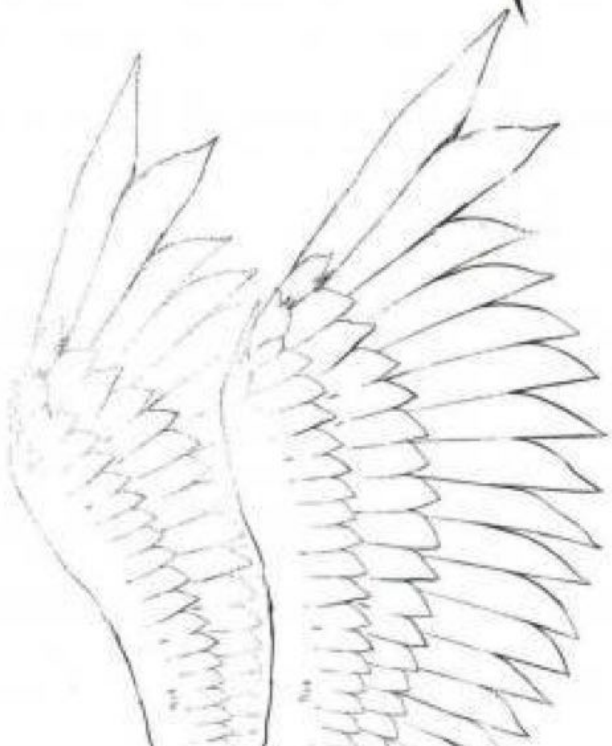


ボウヤの背中に
羽根が時折見えるんだ



…まあ聞いてくれ

!?



幻覚でも見ているのかも
しれないが、まるでボウヤが
天使のように見えてしまうんだ





羽根が見えるう？



でもそんなものが
見るといわれても…

…まあそうだろうな

あまり大きな声を
出すものじゃない





…ふうん？



こういう不思議な
体験なぞしたことは
ないものだからな

…君には見えるかと
聞いてみたかったんだ



もちろん
会いたいですよ！

そんなにボウヤに
会いたかったのか

でも最近俺だって
コナン君に会えていなくて
どう反応していいやらって
感じなんです…

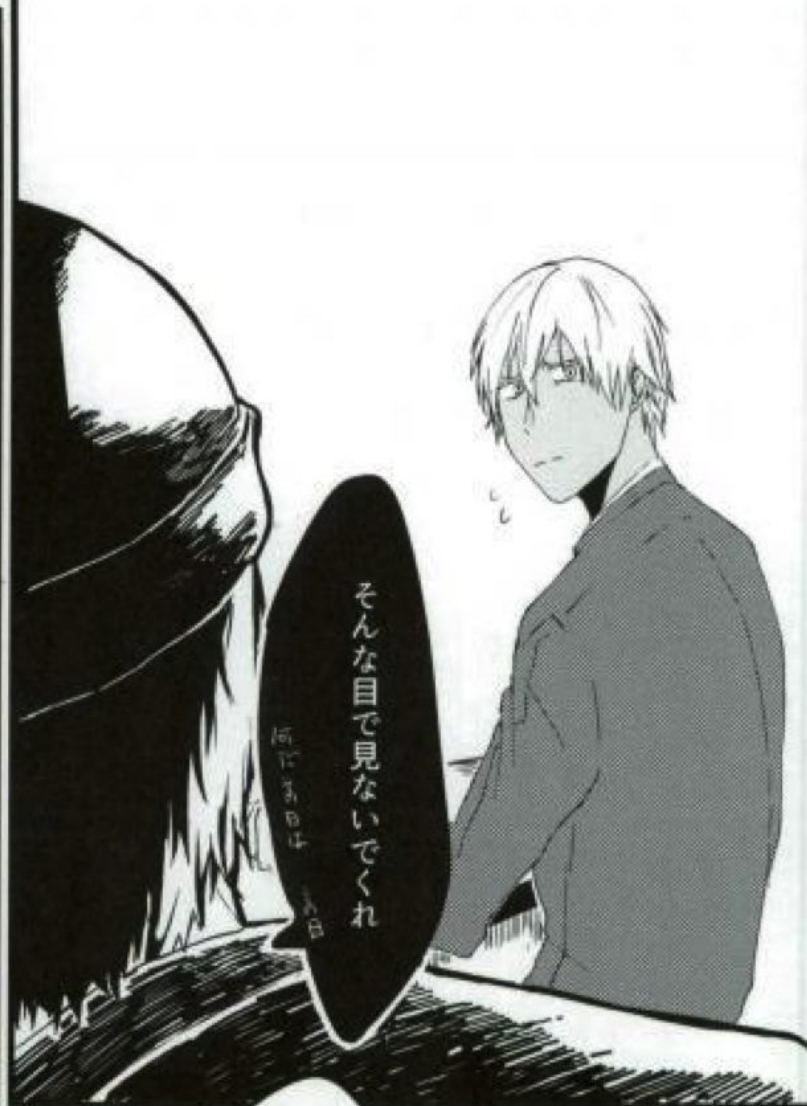
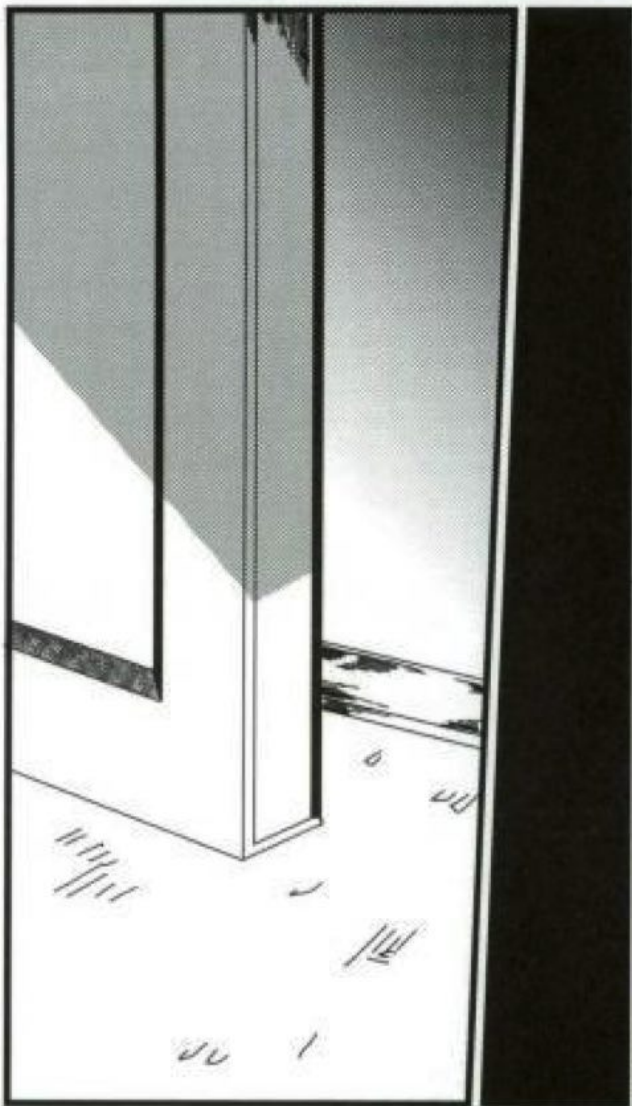


つまり天使のように
見える、ってこと
ですけれども…



羽根がみえる、ねえ…





そんな目で見ないでくれ

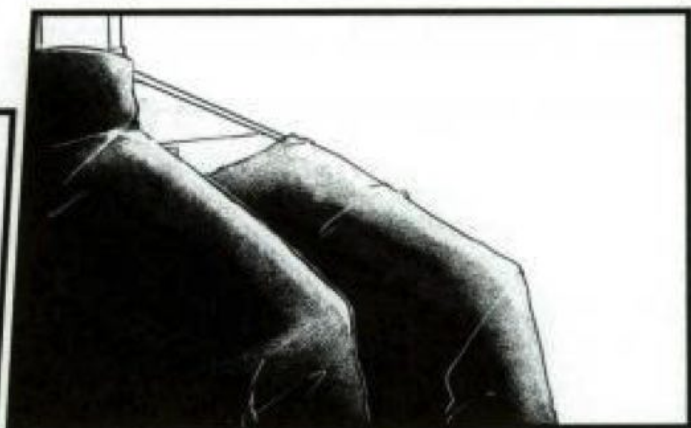
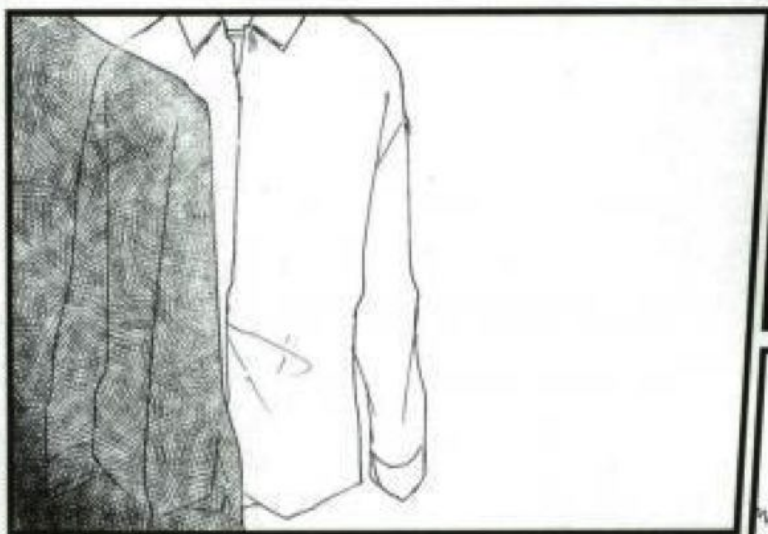


きつと解決するんじゃないんですか？
だって関わっているのは
あのコですからね



あなたが抱える謎だって
簡単に解いてくれるのでは？
…でももし、その見えるものが
本物だったら怖いですね

あつという間に
飛んでいってしまいそうだ





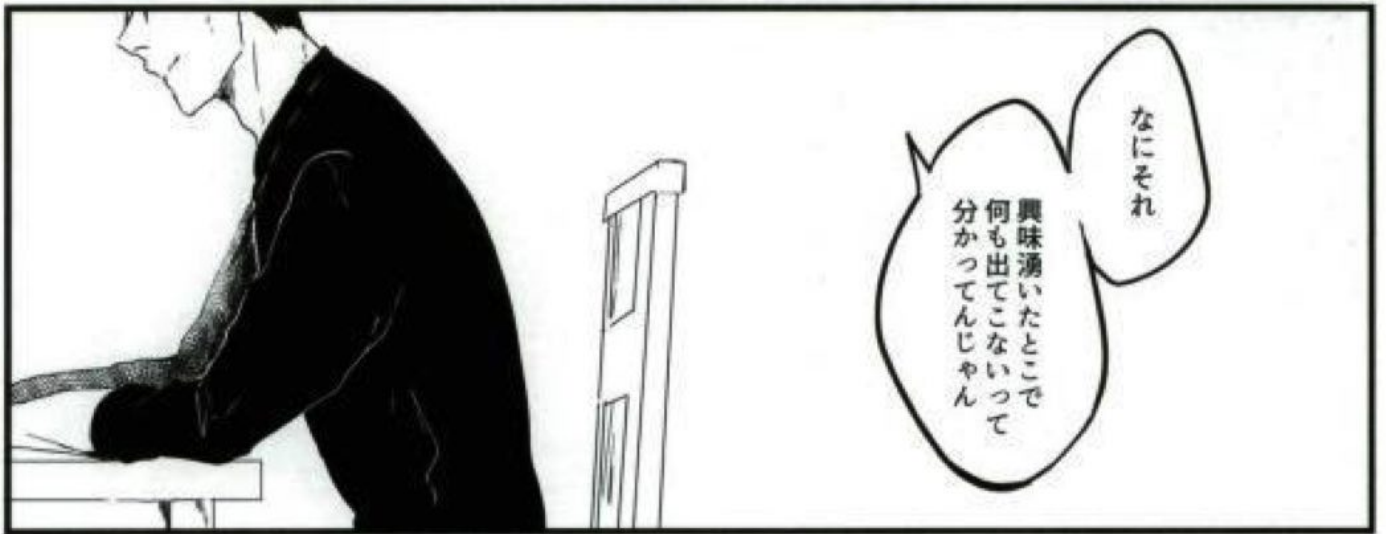
飛んでいくね



赤井さん

…あのさ、
何かあった？









……
ボウヤ?



ポウヤ
ちよつと黙って



…何のつもりだ？



…赤井さんさ



背中に羽根が見えるの、
何でか本当に
分かっていないの？



そうじゃなくて

…どうした、
夢見でも悪かったのか





どこにもいかない




仮に天使だとしても、
翼をもつ鳥だとしても




赤井さんのところから

ここから離れない

A black and white line drawing showing a hand from a sleeve holding another hand. The hand being held is smaller and appears to be resting on a surface. A speech bubble is positioned to the right of the hands.

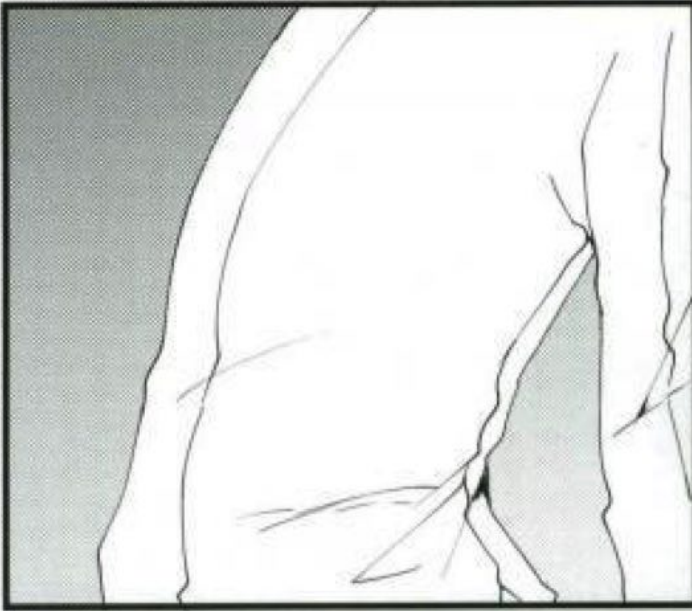
だって、
この手で僕のことを
つなぐことなんて

A black and white close-up illustration of a young man with dark hair and a serious expression. He is looking slightly to the right. A speech bubble is on the left side of the frame.

簡単なことでしょ？

…珍しく感情的に
言葉を並べてくれるな

そもそもポウヤは
立派な人間だ
それは俺が一番
分かっている



この手で君を
捕まえておくこと、
それは独占欲のひとつだ

…ポウヤをそのような
欲で縛りたいなど、
思ってもいないさ





…そう言ってくれるのは嬉しいけれど、



じゃあ烏だと
思っておいてよ

…ポウヤ

そうしたら
赤井さんは籠だ



何を



飛ばないように

籠に入れておいて



しっかりと
鍵をかけて



なぜそんなことを言う…!!



そんなことを言わせる
つもりは一切ないぞ…!!



ボウヤらしくない

嘘嘘、冗談だから
赤井さん落ち着いて

.....


フッフ

ごめんね


変な事
言わせちゃった

.....
ああ






なぜボウヤがあんなことを
言ったのか、寝顔を見ながら
考えてみた。



もし仮に、籠として
この子をずっと
そばに置いておける
ことができるならば



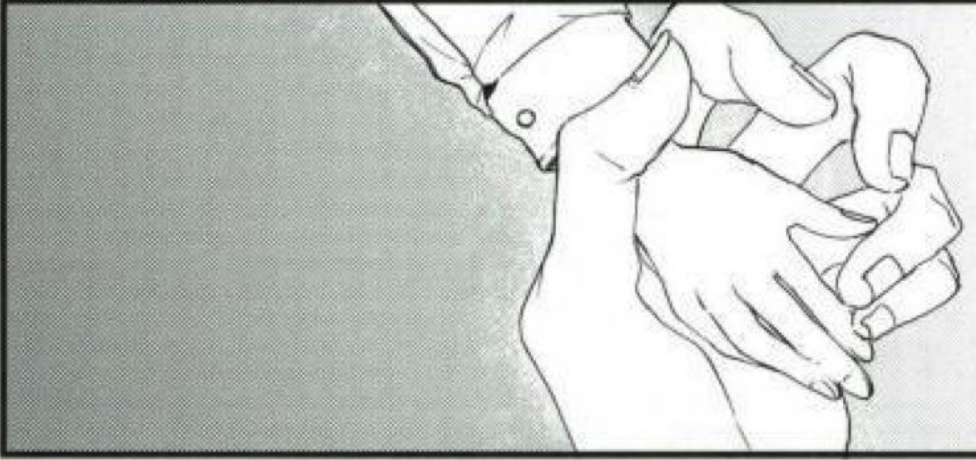
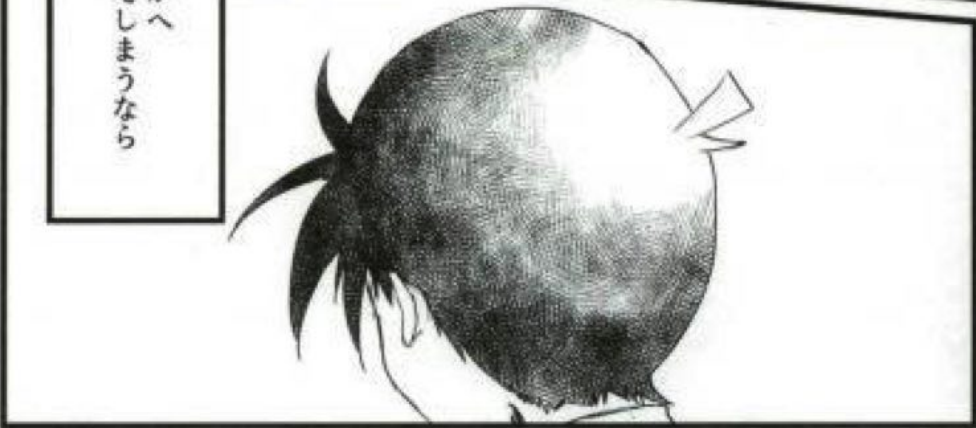
今の姿のままでも、
元の姿に戻っても

手放すことなんて
できないだろう。



もしも

どこかへ
行ってしまふなら



その時は、

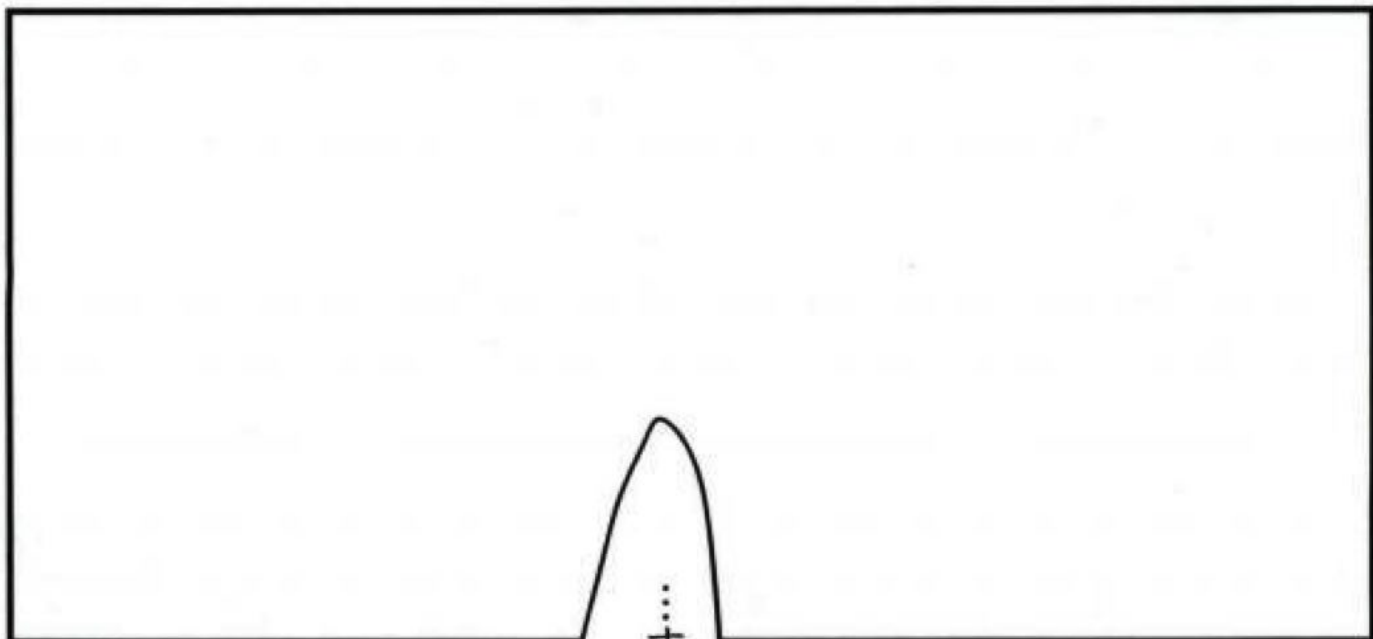




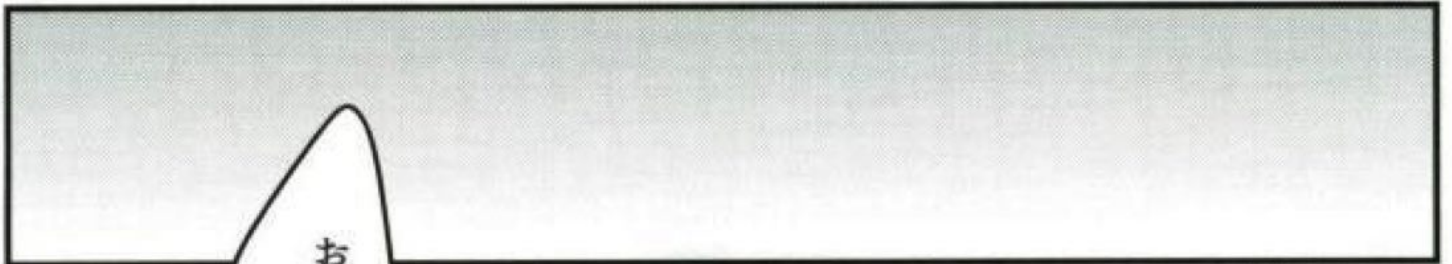
行かせたくはない

……何処へも



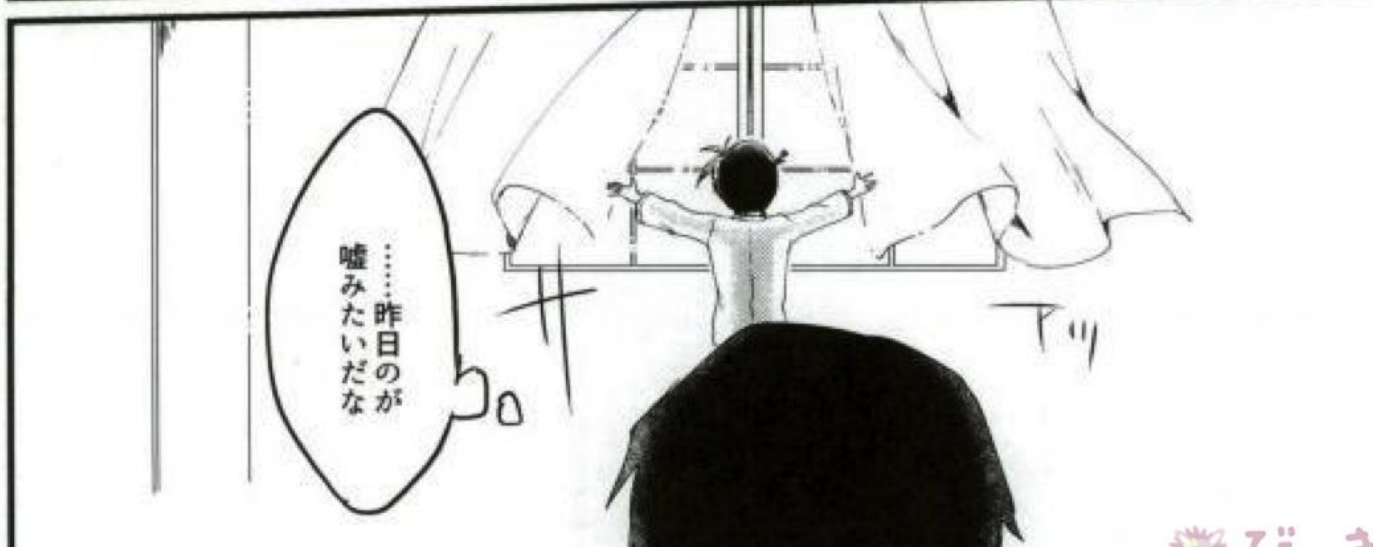


…すまない



おはよう







寝癖ついてる
ちよつと屈んでみて



赤井さん



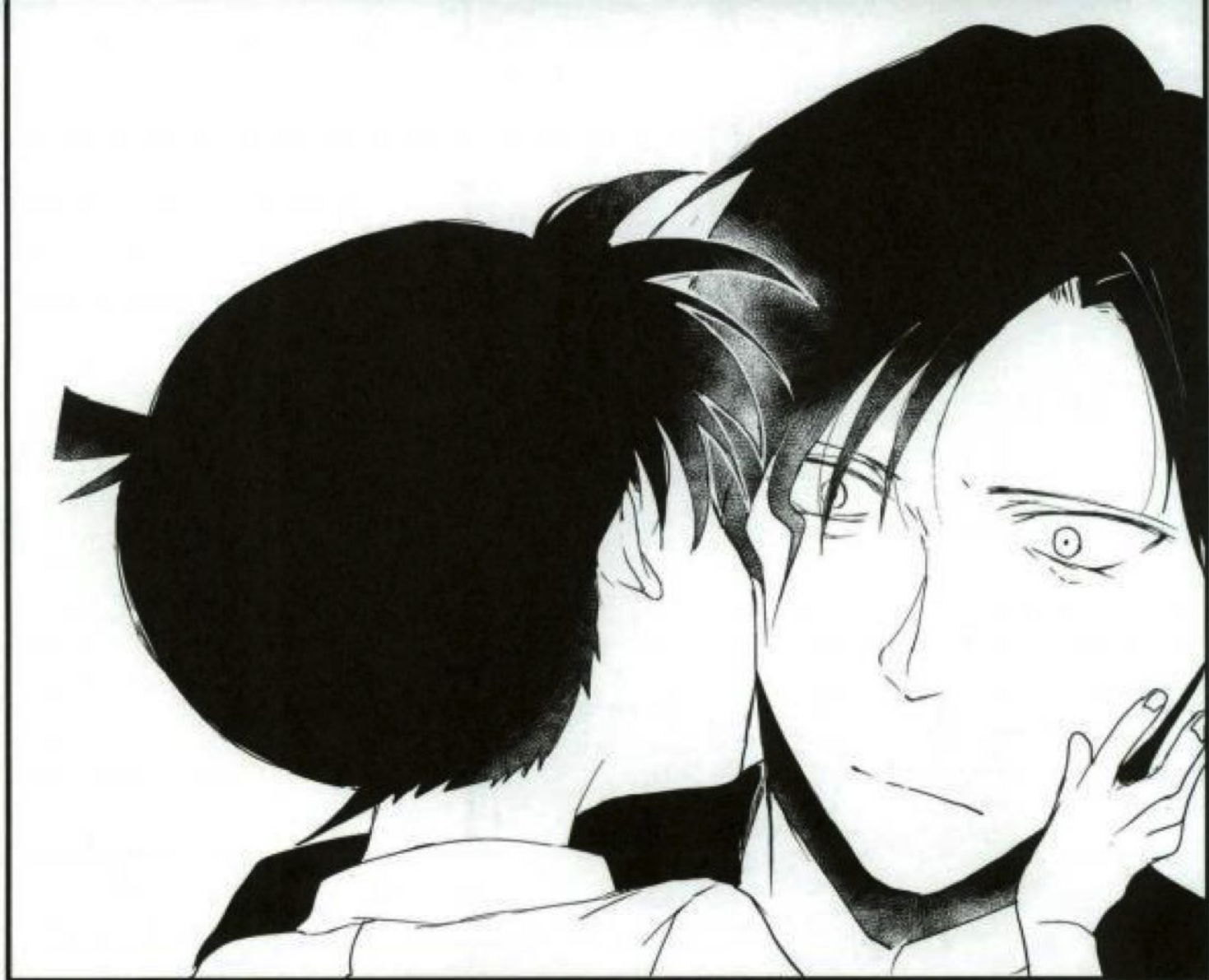
…これでいいか？

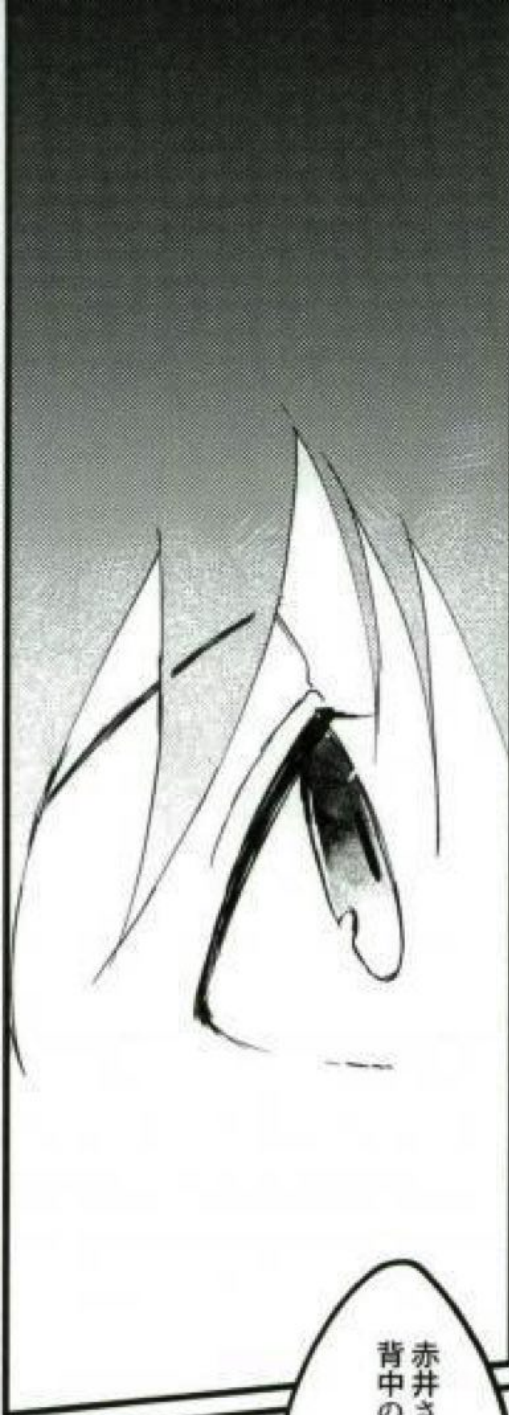


ボウヤ？

……

失礼、赤井さん



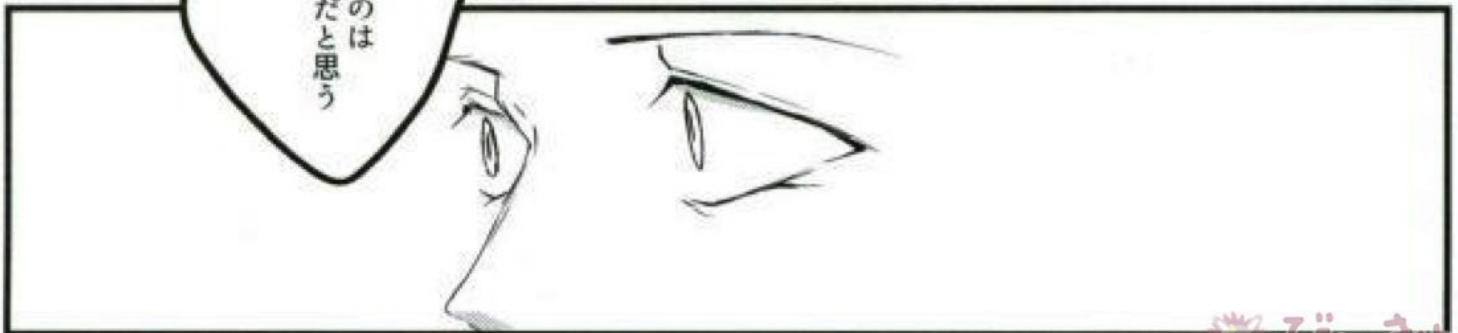


やっぱり赤井さんがいい



赤井さんにしか
背中のもが見えないなら

捕まえられるのは
赤井さんだけだと思う





ちゃんと捕まえておいてね



鍵なんてないんだから



Detective Conan Fan book
20161230 SUSY DA-YAMA